

# 学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

ニュースレター

～働きやすい環境づくりのために～

2024年6月



Vo.1

カレイ

## プログラムの目標達成状況（令和5年度末時点）

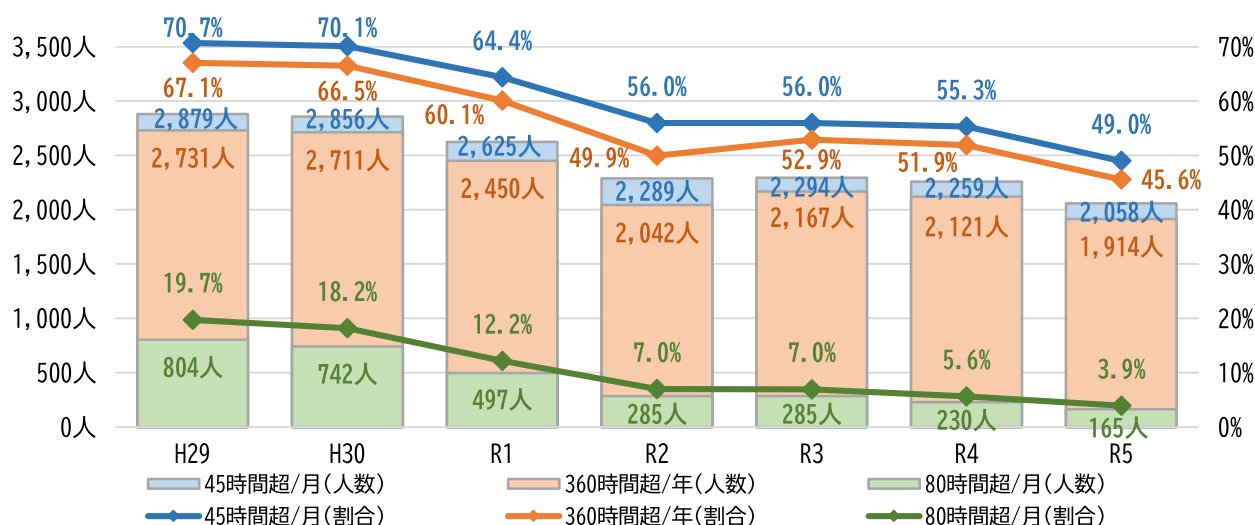
令和3年3月に策定し、取組を進めています「第2期 学校改革！教職員の時間創造プログラム」の目標達成状況は以下のとおりです。

### 在校等時間の削減に関する目標 ⇒ 目標未達成

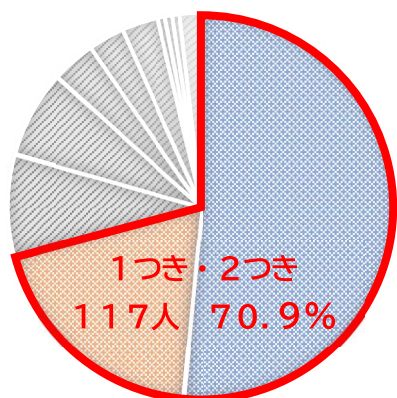
【目標 1】 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月45時間を超える教職員数0人

【目標 2】 正規の勤務時間外の在校等時間が1年間360時間を超える教職員数0人

【当面の目標】 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月80時間を超える教職員数0人



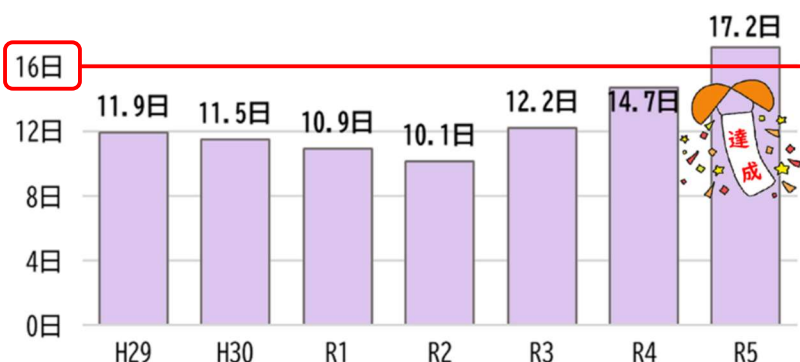
### （参考）1か月80時間を超えた月数ごとの人数



1か月80時間を超えた教職員165人のうち117人（約7割）が、1つき又は2つきのみの超過となっています。また、1つきのみ超過した85人のうち13人は、80時間を超えた月の在校等時間が81時間未満でした。学校（園）での取組の成果が、確実に表れています。今年度も、更なる改善が進みますようお願いいたします。

### 年休の取得に関する目標 ⇒ 目標達成

【目標 3】 教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数16日以上



在校等時間については、平成29年度と比べるとグラフのとおり大幅に減少していますが、目標の『0人』には至っていない状況です。

年休取得については、付与期間の変更等の効果もあり令和5年は平均日数17.2日となり目標を達成しました。

## 「第2期 学校改革！教職員の時間創造プログラム」について

表面の結果のとおり、これまでの取組により成果は着実に表れているものの、全ての項目においては目標達成に至っておらず、今後も継続した取組が必要な状況であること等から、プログラムの内容を一部見直したうえで期間を令和7年度まで2年間延長し、改めて以下の目標について達成を目指し取組を進めていくこととしました。

尚、教育振興基本計画の策定に伴い、働き方改革の効果に関する目標（目標4）を新たに追加しました。

### ★プログラムの達成目標★

- |       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 目 標 1 | 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月45時間を超える教職員数0人    |
| 目 標 2 | 正規の勤務時間外の在校等時間が1年間360時間を超える教職員数0人   |
| 当面の目標 | 正規の勤務時間外の在校等時間が1か月80時間を超える教職員数0人    |
| 目 標 3 | 教職員1人あたりの年休の年間平均取得日数16日以上           |
| 目 標 4 | 心のゆとりや自分の時間が増えた等と感じた教職員の割合60%以上 ※追加 |

## ご自身の在校等時間を把握していませんか

2月に実施した勤務実態アンケート調査の結果を、5月の教育委員会会議で報告し、ホームページにも掲載しております。自由記述の項目である『個人で取り組んでみて、効果があった取組』や『働き方改革についての意見や要望』に対する回答として、次のようなものがありました。

取り組んでいることは、退勤が18：30を過ぎたときは、何をしていた時間がかかったのかを記録することです。自分の行動を知ること、見通しをもって仕事をするにつながっています。  
(小学校教諭)

学校間格差が大きいように感じます。勤務時間の打刻についても、きちんと行っている学校もあれば、そうではない学校もあると聞いています。まずは、先生方が自己の勤務状況を毎月把握していくことが必要だと感じます。  
(中学校教頭)

みなさんは、ご自身の勤務時間外の在校等時間について把握していますか？教職員情報システムにより、確認することができます。働き方の状況を把握することは、働き方改革のための大きな一歩であると感じます。確認方法を掲載しています（右記）ので、是非参考にしてください。

教育委員会事務局では、勤務実績やアンケートについて、今後も分析・検討をしていきます。

『学校改革！教職員の時間創造プログラム』及び令和5年度の『教職員の勤務実態アンケート』の結果はホームページにも掲載しております。ご覧ください。

 [熊本市ホームページ<<教職員の働き方改革について>>](#)

